

男女共同参画を実現するためには

相浦中学校 二年 川崎 翔大

皆さんは、「男女共同参画社会」というものを知っていますか。男女共同参画社会とは、社会のあらゆる分野で性別にかかわらず個性や能力を十分に発揮できる社会のことをいいます。簡単にいうと「女らしく」や「男らしく」のように性別で区別するのではなく、「自分らしく」生きることができる社会を目指すことです。この男女共同参画社会を実現す

るためには、どうしたらよいでしょうか。

男女共同参画社会を実現するために、私たちでもすぐにできる事があると思います。それは、家庭生活です。皆さんの家では、料理は誰がしていますか。おそらく多くの人が「母親」と答えるのではないでしょうか。あるアンケートによると、七割の女性が家事の七割以上を負担しているそうです。私の家では、料理と洗濯は母が十割、皿洗いと掃除は父母で分担、兄弟ではお風呂洗いなどです。その

他、母は名もなき家事というものをしてくれています。名もなき家事とは掃除や料理といった大きな家事以外の細かく見えにくい家事の事です。

日本では、「家事」は女性がするものという考えが共働きが多くなつた現代でも根強いようです。だから、父親や子供が家事を「手伝う」という意識でいる家庭が多いのではないのでしょうか。この「手伝う」とい意識を変えて、家事を家族で分担してみるはどうで

しょうか。家事を家族で分担すると、家族とのコミュニケーションの場になったり、子供の自立の場になるなどメリットがあります。この「家事の分担」はすぐにできるので家族と話し、実行してみるといいと思います。また私の卒業した小学校のPTAには「母の会」というものがありました。私は昔、「母の会」はあるのに、反対に「父の会」はないのかと思つたことがあります。おそらく仕事をしていたいない女性の方が多かつたからなのでしょう。

よう。しかし、今では共働きの家庭も増えて
きています。理想の男女共同参画社会を実現
するには、今ある考えについて、改めて考え、
改善するために行動する。さらにその行動を
新しい世代へつなげることも大切だと思いま
す。『母の会』はあるのに、『父の会』がな
くて不平等だと思っただけ、大人になっただけ私た
ちが父の会をつくる。そしてそれを新しい世
代につなげる。そうして行動を起こすことが
大切なのです。その行動は一時的なものでは
なく継続した行動にすることで社会を変える
力になると思います。

『男女共同参画社会』を実現するため、今
できることは何でしょう。小さなことはかり
かもしれません。『き』とたくさんあるはず
です。その小さなことを積み重ねていくこと
が今の私たちに必要なことなのです。